

第25回 株式会社大本組

訪 問 日：令和3年6月21日(月)

賛助会員：建築本部設計部 次長 大石賢一郎様

建築本部設計部意匠設計二課 課長 榎 祐輔様、意匠設計二課 高橋啓悟様

聞 き 手：情報・広報委員会／延山泰明、岸武信行、有森達也、原口 矛

今回は会社全体の紹介ではなく建築本部設計部の若い人からお話を伺いました。

■会社概要・沿革

社 名：株式会社大本組

代表者氏名：代表取締役社長 三宅啓一

創 業：1907年1月1日

会社設立：1937年12月19日

従業員数：808名(2021年3月31日現在)

■設計部の紹介

岡山本店と東京本社に約60名が設計部に配属されており、意匠設計・構造設計・設備設計・工事監理まで一貫した体制をつくられています。建築受注の60～70%が設計施工ということから、設計部はまさしく花形部署だと思います。その魅力や働き方、社風について聞いてみました。

設計はプロジェクト制をとっており、プロジェクトメンバーは本店・本社を問わず招集され、プロジェクトが終了すれば解散、複数のプロジェクトを掛け持ちすることもあるそうです。大石次長と榎課長は今年4月から岡山本店勤務となられたそうですが、過去にはイオンモール岡山を担当していたそうです。岡山本店と東京本社とでは特に分担が分かれているわけではないが、東京本社は新規開拓の仕事が多く、岡山本店では昔からのお客様の仕事が多いそうです。お二人とも、数多くのビッグプロジェクトに携わってこられたとのこと、その中には有名なアトリエ設計事務所やデザイナーとのコラボレーションも多々あり、その苦労は並大抵ではなかったようです。

仕事の面白さ・魅力についてお伺いしたところ、お客様、デザイナー、設計者と一緒に創りあげていくことが最大の魅力であり、規模の大小でなく、細部まで設計者として担当しているプロジェクト制が、若手社員のやる気を引き出しているのではないかとのお話でした。また、設計部4年目の高橋様は「設計図に対して意見を受けることもあります、そんな時現場の所長と一緒に変更案を考えるなど、現場との一体感があることが設計施工の最大の魅力です。」と目を輝かせていました。

■若手設計者の思い

インタビュー当日は、コロナの緊急事態宣言解除の直後であり、出勤を制限したりリモートワーク主体の業務体制であったため、後日若手社員の方々からのコメントをいただきました。

◆設計部配属7年目

ゼネコン設計部の良いところは、基本計画段階からお引き渡し、またそれ以降までずっと自分が設計した建築に携わることができ、様々な部署の方々と相談しながら皆で連携して建築を作り上げていくことがで

きるところだと思います。着工してからも実際に現場に足を運び、目の前で自分が設計した建築が出来上がっていくことを確認し、現場と議論しながら建築を組み立てていくことができます。私は建築の出来不出来は設計者のエネルギー(熱意)の量と比例すると信じて仕事をしています。協力したりぶつかり合える仲間がたくさんいることで、より良い建築が生まれるのだと思います。私は建築士会の青年部会と女性部会に所属させて頂いておりますが、皆様非常に熱心に活動をされていて、建築に対する高い志を感じることが出来ます。現在積極的な活動は難しいですが、温かい言葉をかけて下さいます。会社という垣根を越えて、建築で繋がる場があることに心から感謝しております。

◆設計部配属3か月

若手のうちから街の風景を創り、企業のイメージを体現するような仕事に携わることが魅力だと感じます。大きなプロジェクトの中でも、自分の意見や考え方をしっかり持つことが重視されており、活躍できるチャンスが多い環境であると思います。若い年代の社員が多く、情報交換しながらも互いに競争する空気感があります。業務のうえでは、設備、構造の部署が同じフロアにいて、密に連携を取って設計を進められるところが強みだと思います。分からないことや悩みごとに対して、多くの上司や同僚からいつでもアドバイスを頂けます。

◆設計部配属7年目

ゼネコンだからこそ携われる大型の商業施設等が完成し、たくさんのお客様が施設を利用してくれているところを見ると、やりがいのある仕事だなと感じます。また、同じ会社のメンバーとして現場と一緒に建物をづくりあげられるところがゼネコン設計部の良いところだと思います。

■インタビューを終えて

今回は、設計部だけのお話をお伺いしましたが、では会社全体はどうかというところ……株式会社大本組のホームページでもご覧になれますが、創業者大本百松氏の若かりし頃の姿が、漫画家本宮ひろ志氏の手で漫画化されています。タイトルは「百松魂-明日への挑戦-」です。20年以上前に描かれた漫画ですが、大本組さんによると「『百松魂』がわかりやすく社風をよく表している。」とのこと。皆様も一度ご覧になってみてください。

